

■新型コロナウイルス感染症の影響

現在、世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。4月16日には、東京都等を対象区域とした緊急事態宣言が本県を含めた日本全国の区域に拡大され、感染者数も日々増加するなど、県民は不安の中で毎日を過ごしてきました（県内の発生状況は下記「新型コロナウイルス感染症患者の発生状況」参照）。

幸いにも、感染者の発生数が減少傾向になったこともあり、5月14日に本県を含む39県で、5月25日に全国で宣言が解除されました。一方で、第2波、第3波の到来も懸念されるなど、依然として予断を許さない状況が続いており、街中の人通りもまだまだ戻ってきておらず、その影響は継続しています。

本県では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会経済活動の維持の両立に向けて、全県一丸となって取り組んでいるところですが、「とちぎびと」の皆様におかれましても、くれぐれもご自愛ください。

※リンク先「栃木県の新型コロナウイルス感染症関連情報」

<日本語>

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/>

<英語>

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/english/foreignlanguage.html>

■南米の栃木県人会から高校生が来県

本年1月、南米の高校生5名が来県し、県立宇都宮白楊高校の生徒と交流を育みました。これは、南米に所在する在伯栃木県人会、アマゾン栃木県人会、アルゼンチ

ン栃木県人会、ペルー栃木県人会から推薦を受けた高校生を、短期研修生として受け入れたものです。

来県した高校生らは、同校での授業参加、いちごの収穫、生徒宅ホームステイ等を体験したほか、知事表敬訪問、県海外移住家族会との懇親会など、さまざまなイベントに参加しました。今回の事業を通じ、若い彼らにそのルーツである栃木県への郷土愛が生まれ、将来、各県人会の中核として活躍する人材となっていくことを期待しています。

来県した5名の皆さん、また栃木県に来てください。待ってますよ！

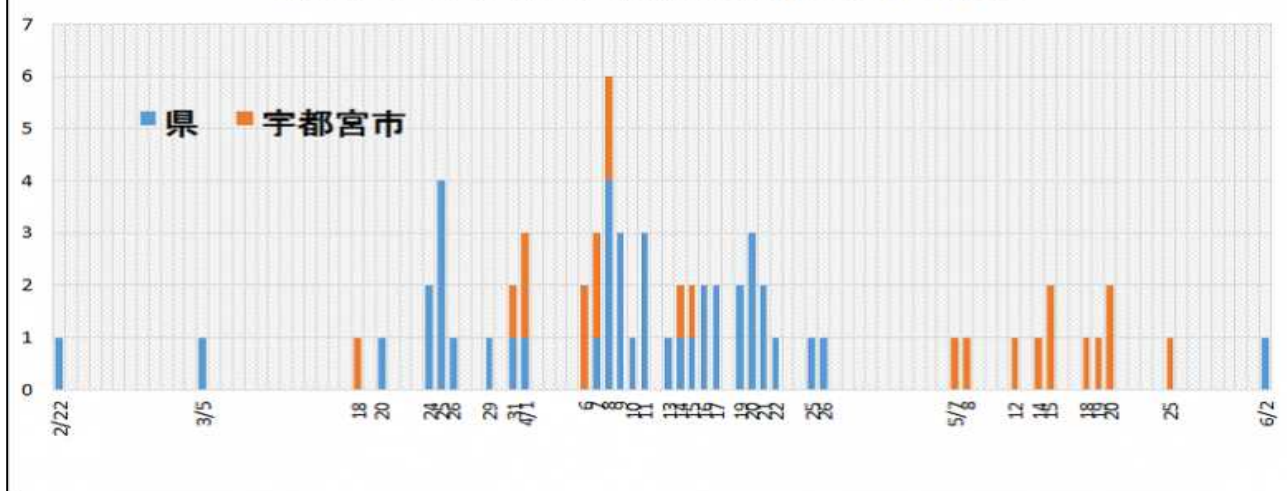
※リンク先「南米県人会短期研修生受入れ事業について」

http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/houdou/documents/kensyu_gaiyou.pdf



▲県立宇都宮白楊高校で体験学習した南米栃木県人会からの高校生5名とそのホストシスター・ブラザー

新型コロナウイルス感染症患者の発生状況



▲県内の新型コロナウイルス感染症患者の発生数は計66名（2020年6月8日現在）

■県内経済のグローバル化(令和元(2019)年度国際経済交流調査)

県内企業 1,000 社を対象に、経済のグローバル化に即した支援事業を展開するための基礎資料を得ることを目的として、輸出入や海外進出の状況等について調査しました(回収率 53.5%)。

これによると、輸出入実績のある企業数は 282 社で、前年度から 10 社増となりました。ここ数年、着実に増加しており、県内経済にもグローバル化が進んでいることが裏付けられました。詳しい調査結果は、下記のリンク先をご参照ください。

※リンク先「令和元(2019)年度栃木県国際経済交流調査結果」
http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/work/shoukougyou/kokusai/keizai/2020kokusai_keizai_kouryu_chousa.html

■2つの友好交流記念事業

<2019年9月 アメリカ・インディアナ州>

1999年に姉妹提携したアメリカ・インディアナ州から、20周年のお祝いにエリック・ホルコム知事一行が来県しました。

記念セレモニーでは、両県州の関係が末永く”盤石”となるよう願いを込めて双方の特産である”石”を使用したモニュメントを作成しました。県庁舎1階ロビーに展示してあるモニュメントは一見の価値あり！です。一時帰国の際にはぜひご覧ください。

※リンク先「栃木県とインディアナ州との姉妹提携20周年記念事業を実施しました」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/kouhou/20190907.html>
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/kouhou/20190907.html>



▲知事会談後の集合写真。長身の男性がホルコム知事

<2019年11月 フランス・ヴォークリューズ県>

1989年に友好交流をスタートしたフランス・ヴォークリューズ県から、30周年のお祝いにモーリス・シャペール議長一行が来県しました。

記念事業の企画に当たり、多くの県民、企業、学校等の方々からボランティア協力のお申し出をいただきました。

30年という年月が、ヴォークリューズ県との交流を県内に深く根付かせていることを再認識し、嬉しく思いました。

※リンク先「ヴォークリューズ県との友好交流30周年記念事業を実施しました」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/f04/2019-kokusai/documents/vaucluse.html>



▲美しい竹林で有名な宇都宮市内の若山農場を訪問した際の集合写真。スーツ姿の男性がシャペール議長

■新スタジアム完成

本県では、2022年に42年ぶりに国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」と全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が開催されます。そのメイン会場として宇都宮市西川田地区内に整備を進めていた新スタジアムが、この4月に完成しました。名前はなんと「カンセキスタジアムとちぎ」。というのも、ホームセンターとしておなじみの(株)カンセキ様が命名権を取得したからです。栃木県らしからぬ(?)洗練されたデザインと巨大さに圧倒されます。

残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響で5月に予定していた完成記念式典は延期になってしまいました。事態が早く収束し、県民の歓声の響く日が一日でも早く訪れるといいですね。

※リンク先「総合スポーツゾーンの整備について」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/h13/gsz/index.html>



▲カンセキスタジアムとちぎ全景。右奥はとちのきファミリーランド

世界で活躍する 「とちぎびと」の ご紹介

今回から、世界で活躍する「とちぎびと」の皆さまを紹介させていただくことにしました。初回は、米国ロサンゼルス市に所在する「南加栃木県人会」の老沼道明様に、同県人会の活動について執筆いただきました。老沼様、ありがとうございました。南加栃木県人会の皆さまのますますご活躍を期待しています。(皆さまからの執筆ご希望の連絡をお待ちしています！)

南カリフォルニア栃木県人会 (通称:南加栃木県人会)

老沼 道明

南加栃木県人会は 1992 年に設立しました。同じ県人の相互の親睦を深めるために、また栃木県をこちらに住んでいる人たちに紹介するために色々な活動を行っています。

70 会員家族と 1 会員企業で、会員の総数は約 120 名となっています。

毎年の主な活動は、2 月の新年総会と親睦会、8 月の BBQ ピクニック運動会です。BBQ ピクニック運動会は、以前フランスレストランでオーナーシェフとして活躍していました当会顧問のシェフ佐藤(佐藤 了)が素晴らしい料理を提供してくれますので、大変好評を得ています。運動会では、パン食い競走ならぬドーナツ食い競走、洗濯物干し競走などで楽しんでいます。その他今までにはラスベガス旅行、サクランボ摘み、メジャーリーグ野球観戦等も行い会員の親睦を深めてきました。

栃木県 PR 事業としては、毎年ロスアンゼルス市中心の小東京で開催される、二世週祭の一環として行われる七夕まつりにブースを出して栃木県の紹介をしています。小東京と言っても、最近は日系人よりも他の人種が多くなり、栃木県というより日本に興味のある人たちが大変多くなりました。また、大田原市と姉妹都市関係にあります West Covina 市で開催される 3 月の桜まつり、10 月の秋まつりにもブースを出して栃木県の紹介をしています。



佐藤芳江会長を中心に色々な行事を計画して会員が楽しむように、また、この南カリフォルニアの人達に栃木県の情報を広めるために活動しています。

しかしながら、今年は世界中で猛威をふるっているコロナウイルスの影響で、ここロスアンゼルスでも夏までの行事は全部中止になりました。日系社会でも行事は中止と言うことで、二世週祭も出来なくなりました。人が集まるのが禁止ですので何もできない状態です。このコロナウイルスが早く治まり、世界中がまた活気の満ちた世界になるように祈ります。

連絡先: Tochigi Kenjin-kai of Southern California
144 Hazell Way, San Gabriel, California 91776
U.S.A
e-mail: tochigi.socal@gmail.com



▲子供たちに大人気！恒例のドーナツ食い競走の様子



▲七夕まつりでの栃木県紹介ブースと著者

発行: 栃木県産業労働観光部国際課 公益財団法人栃木県国際交流協会
編集: 公益財団法人栃木県国際交流協会 〒320-0033 栃木県宇都宮市本町9-14とちぎ国際交流センター内
連絡先: E-mail: tia@tia21.or.jp URL: <http://tia21.or.jp/> 発行日: 2020年6月9日